

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 8月分

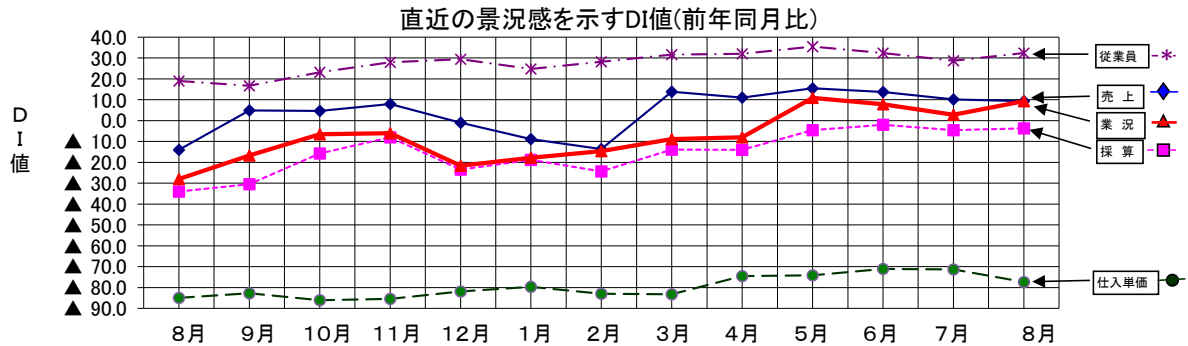
【8月の概要】

経済活動は上昇傾向にあるも、 エネルギー価格上昇や人手不足等で先行は悪化傾向

直近の景況感を示すDI値は、「業況」で6.5ポイント改善。「採算」については、若干改善したものの20か月連続でのマイナス水準となった。

また、先行き見通しを示すDI値は、「業況」以外の全項目で悪化した。特に「仕入単価」は前月比で13.9ポイント下落した。

コメントでは、経済活動が回復してきていることもあり、好調を示す回答も見られるものの、人件費等の経費高騰や人手不足が深刻との回答が引き続き多い。加えて、資材やエネルギーコスト高を指摘する声も多く、先行きを楽観視できない状況が続く。



【直近の景況感を示すDI】※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合) ※従業員=(不足)-(過剰)
(Diffusion Index の略)

	2022年 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	2023年 8月
売上	▲ 14.0	4.9	4.6	8.0	▲ 1.0	▲ 8.9	▲ 13.6	13.9	11.0	15.5	13.7	10.2	9.3
採算	▲ 34.0	▲ 30.4	▲ 15.7	▲ 8.0	▲ 23.5	▲ 18.8	▲ 24.3	▲ 13.9	▲ 14.0	▲ 4.6	▲ 2.0	▲ 4.6	▲ 3.7
業況	▲ 28.0	▲ 16.7	▲ 6.5	▲ 6.0	▲ 21.6	▲ 17.8	▲ 14.6	▲ 8.9	▲ 8.0	10.9	7.8	2.8	9.3
仕入単価	▲ 85.0	▲ 82.8	▲ 86.1	▲ 85.5	▲ 81.9	▲ 79.7	▲ 83.0	▲ 83.2	▲ 74.5	▲ 74.1	▲ 71.1	▲ 71.3	▲ 77.3
従業員	19.0	16.7	23.2	28.0	29.4	24.8	28.2	31.7	32.0	35.5	32.4	28.7	32.4

- ・マイナス幅が減少したDI値：採算0.9ポイント
- ・プラス幅が増加したDI値：業況6.5ポイント、従業員3.7ポイント（人手不足局面へ）
- ・プラス幅が減少したDI値：売上▲0.9ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：仕入単価▲6.0ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
6月	15.7	1.0	▲ 4.9	▲ 46.1	32.4
7月	16.7	11.1	2.8	▲ 34.3	32.4
8月	15.7	6.5	9.3	▲ 48.2	36.1

- ・見通しが改善したDI値：業況6.5ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲1.0ポイント、採算▲4.6ポイント、仕入単価▲13.9ポイント、従業員3.7ポイント（人手不足局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電機	コロナの影響も無くなってきており、今後徐々に売上や収益は増加していくと思われる。
	ゼネコン	以前より資材価格の高騰は部分的になっているが、人件費の高騰は続いている。
製造業	建設鋼材	人件費や仕入価格の上昇により、前年比で採算が悪化している。販売価格への転嫁を図る必要がある。
	製菓	イベントの開催や外食・観光業の需要が増加するものの、人手不足により生産が追い付かない状況である。
卸売業	青果	連日の真夏日により、収穫量の減少、品質の悪化、正品率の低下の傾向が見られる。
	調理器具	売上がコロナ前の水準に戻らず、経費だけが増加している。どうにかして黒字になる方法を模索したい。
小売業	ホームセンター	夏物関連商材やレジャー用品の販売が好調に推移している。
サービス業	タクシー	酷暑のため利用頻度が多いが、業界全体に人手不足が目立っている。□
	警備	業績は好調に推移しているが、エネルギー価格上昇や人手不足等の経営課題は多い。
	ホテル	客数はコロナ以前に戻りつつあるものの、人員不足が問題である。